

いてふ

ICHO No43 2020 12



Hofu Institute of Gastroenterology

一般財団法人

防府消化器病センター

消化器疾患を中心に  
質の高い, 安全で, 温かみのある医療を提供し  
予防医学, 研究事業を通して  
地域社会に貢献します

## 離島と医療について

萩市国民健康保険見島診療所 所長 勝部 聡太

皆さん初めまして。萩市国民健康保険見島診療所に勤務しております、勝部聡太と申します。見島は山口県の最北端に位置し、萩市沖北北西約 45km にあることから漁業や渡り鳥のバードウォッチング等の観光が盛んです。人口は約 700 人弱で、島民で力を合わせて生活しています。

見島診療所は島内唯一の医療機関として、24 時間 365 日島民からの要望に対応しております。内科・外科・小児科を標榜しておりますが手足や目・耳・皮膚等のトラブルにも出来るだけ診察しており、上は 100 歳を超えた方の在宅での看

取り、下は生後 2 か月の予防接種に至るまで多くの方からご利用を頂いております。



また島内には栄養士や薬剤師もいないので食事栄養指導、服薬管理指導は自分や看護師が誠心誠意取り組んでおります。

そんな見島ですが一度職場を離れるとゆったりとした時間が流れています。道路には信号もなければ卵が計り売りだったり、最初は違和感を覚えました。最近ではだいぶ慣れてきており、自分も余裕があればイカ釣りに興じております。

自分が赴任したこともあり今年度から島内で胃がん検診（胃内視鏡検診）を受けられるようになり、島民へ還元出来ているのではないかと考えております。

不定期で防府消化器病センターにて研修させて頂いておりますのでどうぞよろしくお願い致します。また機会がありましたら是非とも見島においでください。



## Message from our Director

## 大腸内視鏡検査の進歩

病院長 三浦 修

現在、癌の中でも男女ともに死亡率が上位の大腸がんは、早期に発見すれば根治できる可能性の高いがんです。しかしながら、大腸がん検診の受診率並びに精検受診率は依然として低い状態が続いています。

いままで、5mm 以下のポリープ（良性の腺腫）は、放置してもすぐには大きくなったり悪性化することはないだろうという方針で、経過観察することが多かったのですが、5mm 以下の病変でも、緊満していたり、へこんでいたり、表面が凸凹であったりざらざらしているものは悪性病変の可能性が高いといわれ、小さい病変あるいは平坦な変化でも見逃さない検査の工夫が必要です。

最近の電子内視鏡の進歩は著しく、ハイビジョン画像で微細な変化も指摘できるようになってきました。色素散布

や画像強調観察を併用し、さらに簡単な操作で画像を数十倍から数百倍に拡大して観察できるものもあり、微細な表面構造や血管の状態まで診断できるようになりました。病変の拾い上げだけでなく、病変の良悪性の診断、さらには病変の進み具合まである程度診断することも可能となってきました。

今後、大腸の病気はますます増えてきます。がんを早期に発見することで、より侵襲の少ない治療を選択することも可能となります。40 歳以上の方は、便潜血反応による大腸がん検診を毎年受診することはもちろん、潜血反応が陽性になった場合には、必ず大腸内視鏡検査まで受けて頂くようお願い致します。



### 『定期的にごがん検診を受けましょう！』

国民の 2 人に 1 人が、がんになると言われています。がんは、早期発見されるほど、治る確率が高くなります。自覚症状がなくても、定期的にご検診を受けましょう。

## 看護部「災害看護研修」を終えて

看護部教育委員 河村 利恵子

去る11月13日『災害看護の基礎知識－災害の中で「生きる」に寄り添うこと－』をテーマに、災害看護専門看護師 寺田英子先生をお招きし、看護師対象にご講演を頂きました。

日頃から“災害”という言葉をよく耳にしますが、災害の対策や準備は万全とは言えません。そこで実際災害が起こった時に、看護師として何をするのか、災害専門看護師とはどのような活動をするのか、実際に活躍された現場の様子など生の声をお聞きし胸が詰まり涙が出ました。災害現場での実際の看護、物が無い場所で創造することの大切さを学び、講演後のアンケートでは「もっと話がききたかった」「感動した」「危機管理をしなければいけない」など関心

の高さが伺えた素晴らしい研修でした。

ここ数年で台風の規模が大きくなり、防府市でも大規模な災害を経験し、今後もまた災害が起こる可能性があります。

災害が起きた時、何が一番大切で、何から行動しなければいけないのか、考える良い時間となりました。



## 感染制御研修会を開催しました

感染制御チーム 薬剤師 磯村 奈帆子

2020年は、未知のウイルスによる感染症の流行に始まった年でした。それは新型コロナウイルス（COVID-19）と名付けられ、現在も流行の一途を辿っており、予断を許さない状況が続いています。

COVID-19の感染対策は、飛沫感染予防と接触感染予防、そしてマイクロ飛沫による感染予防です。マイクロ飛沫は、人の咳やくしゃみによって吐き出されたウイルスがしばらくの間空気中を漂い、それを吸い込むことで起こる感染です。飛沫を発生させない・浴びないためマスクの着用と、ウイルスが付着している可能性があるものに触れた手で目や鼻などを触らないような意識付け、こまめな手洗い、マイクロ飛沫感染を

防ぐため、3密を避けることが重要です。

当院においても、2月にCOVID-19とその感染対策について研修会を開催し、日々の診療や業務にあたってまいりました。11月26日には、改めて感染制御チーム（ICT）よりCOVID-19の特徴や臨床症状、検査方法と感染対策について、アップデートした情報に関する研修会を開催しました。研修会は密にならないよう対策を行った上で開催し、新しい情報をインプットするとともに、感染対策の基本を再確認しました。

職員一同、これからもより一層気を引き締めて職務を全うしてまいります。

Renkei

## 地域医療連携室より ～レスパイト入院について～

地域包括ケア病棟では、患者様のご家族を支援するための一時的なレスパイト入院の受け入れを行っています。台風による停電発生時、在宅酸素利用患者様などに急遽ご利用頂くケースなどにも対応しています。

年末・年始など、レスパイト入院のご希望がありましたら地域医療連携室へご相談下さい。なお、レスパイト入院の説明、申し込み用紙はホームページよりダウンロードできます。

地域医療連携室 TEL:(0835)22-3339 (代表) FAX:(0835)25-8754 (直通)

12月からの診療表 ご確認下さい

## 外来診療予定表

	診察室	月	火	水	木	金	土
午前	1診	藤原 9:00~	三浦	三浦	藤原 9:00~	三浦	
	2診						
	3診	三浦	竹尾	竹尾	竹尾 9:00~		交代制
	5診	生形	宮崎	生形	好中/竹元/ 望月(交代)	生形	交代制
	6診				宮崎		
	肛門外科					竹尾(再診)	
午後	1診	生形(※1)	休診	宮崎(※1)	休診	休診	休診
	肛門外科	竹尾(再診)	休診	休診	休診	日高(※2)	休診
		診療日時		受付時間		診療時間	
平日	午前		8:00~11:00		8:30~		
	午後(月・水)		13:30~16:30		14:00~		
土曜日	午前		8:00~11:00		8:30~		

※1 都合により代診になる場合があります。

※2 肛門外科：12:00より初診・再診の外来診療を行っております。14:00以降は手術や処置が入ることがございます。お問い合わせください。

土曜日の診療に関しましては、交代制となっております。土曜日の診療予定は受付前に掲示しております。出張等で担当医が不在の場合もございますので、受付またはお電話にてお問い合わせください。

## Access



### 一般財団法人 防府消化器病センター

山口県防府市駅南町 14-33

TEL: 0835-22-3339 (代表)

H P: <https://www.hofu-icho.or.jp>



#### ■交通機関のご案内

【電車】JR 防府駅よりバス2分(防府市役所前下車)

またはJR 防府駅より徒歩10分

【バス】防府市役所前下車

【お車】山陽自動車道 防府東もしくは防府西インターから10分

## Editorial Note

年を重ねるごとに時の経過をより速く感じるようになるとはよく言われることですが、昨年暮れに中国で始まった「謎の肺炎」の影響もあって、今年は本当に矢を射たかのような1年でした。With コロナです。経済のことも踏まえ、日常生活において必要不可欠な感染対策の浸透に寄与することも医療従事者の役割ではないかと感じます。マスクのない会話はリスクが高く、手洗いで、持ち込まない、持ち出さないを徹底すること。これから寒くなり、ウイルスも元気になります。皆様ご自愛のほどよろしくお願い致します。事務局長 栗林左知